

市民活動・虎の巻

研究テーマ 『はじめての「後援申請」』

イベントのチラシで主催団体と並んで「後援：●●」と表記されているものをよく目にしますよね。そもそも後援とは何の意味があって、後援を得ることでイベントにどんなメリットがあるかご存知ですか？後援を得るためにはいくつかの手順を踏む必要があります。用意周到に準備をした上で、後援を賢く活用してイベントを盛り上げましょう。

1 本当に欲しいのは“後援”？ 混同に注意！

後援	主に公共機関やマスコミなど公共性の高い団体が、イベントの趣旨に賛同しその開催を援助すること。市の後援の場合、公益性があること、営利を目的としないこと、市の政策の推進につながるなどが条件となる。後援を得ることで、広報の協力が得られたり、イベントの信頼感の醸成につながるなどの効果が期待できる。
共催	複数の団体が共同でイベントを主催すること。共同主催。
協賛	そのイベントに賛同し協力すること。金銭的支援のほか、人的、物的、サービスの支援も含まれる。スポンサー。
協力	イベントの実施に向けて力を合わせる。物品や場所の提供などイベント進行上で特定の役割を受け持つことが多い。

2 申請の手順 長岡市(及び教育委員会)への後援申請の場合

- 1 申請書類提出** 事業実施日の14日前までに、事業と関連性の高い課へ申請書類を提出。
- 2 審査&通知** 事業内容と主催団体の審査が行われ、後援の可否が決定される。
- 3 事業実施** 事業を中止・変更した際は速やかに必要書類を提出。
- 4 報告書類提出** 事業終了後は速やかに報告書類を提出。

事例 第2回ながおか縄文の丘マラソン
 長岡市・長岡市教育委員会・長岡市スポーツ協会から後援を得て開催しました。



らこら

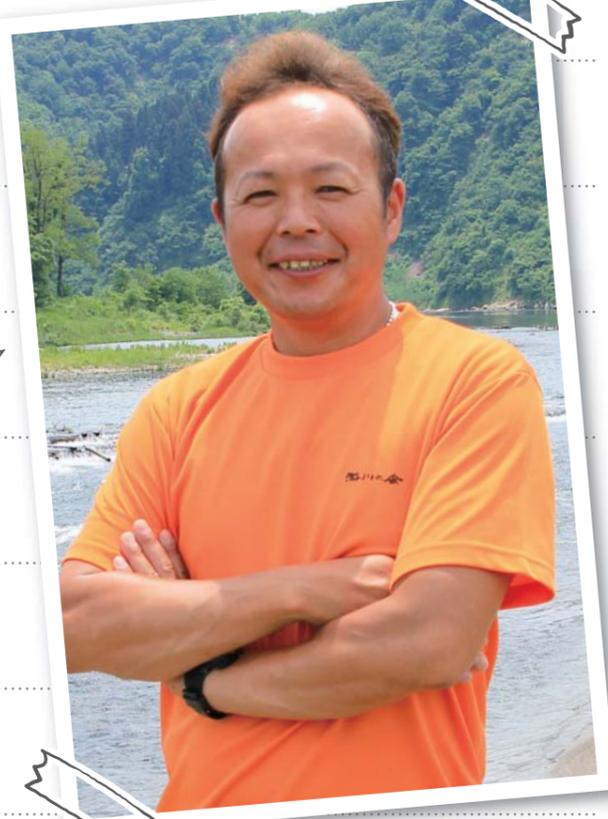
Racotte vol.79
発行 ●ながおか市民協働センター

2019
7
FREE

インタビュー interview

夏は魚、冬はスコップで地域に笑顔を咲かすアツい男

岡村真人さん



夕日に魅せられたカフェオーナー

原田美喜子さん

we can do it!

私たちは **〇〇ができます!**

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん！
 困りごと、協力してほしいことはありませんか？
 私たちが力になりますよ！

「長岡市アカペラサークル ハモろう亭」は、イベントでアカペラを披露できます!

音楽にあふれた街を目指して、楽器を使わず手軽に始められるアカペラを広める活動をしています。地域のお祭り、イベントなどでアカペラを披露したり、アカペラ・ボイスパーカッションの簡単な講座・体験会が出来ます。



協力してほしいこと 音楽イベントの企画運営をサポートして下さる方、演奏の機会を提供頂ける団体を募集中。

活用しよう! **協働マッチングリスト**

市民活動団体の「協力できること」「協力してほしいこと」をまとめたリストです。リストを開けば、助けになる団体、または力になれる団体がきっと見つかります!



information センターからのお知らせ

越後長岡まちの駅 シールラリーの旅2019

人や情報が集まる場所「まちの駅」。まちの交流拠点であるまちの駅をめぐって「ご当地キャラシール」を集める「シールラリーの旅」を今年も開催します。シールを集めて申し込むと、各駅の特徴ある素敵な景品を抽選でプレゼント。まずは、市内に56あるまちの駅で「越後長岡まちの駅シールラリーの旅」のパンフレットをゲットしよう!

令和元年 【実施期間】 7月22日(月)~9月8日(日)



このほりがまちの駅の目印です!

越後長岡まちの駅 ネットワーク代表 原田 敏さん




協働センター Q&A

- Q. 小中学校にイベントのチラシ配布、ポスター掲示をするには?
- A. 長岡市内の小中学校は、長岡市教育委員会の後援がなければ広報協力できない場合が多いので、長岡市教育委員会に相談しましょう。
- Q. 協働センターにイベントのチケット販売を預託出来ますか?
- A. 市民団体が主催する非営利イベントのチケットは、協働センターで預託販売が可能です。手数料は不要です。詳しくはお問合せください。

毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ
 FMながおか 80.7MHz
 ながおかの市民活動紹介番組
 放送時間 10分程度 第5月曜日を除く

ながおかの市民協働のポータルサイト
コライト、見ないと!
<https://nkyod.org>
 協働センターのホームページ「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこらでのバックナンバーも閲覧できます。

- 活動PickUp!
- しろろまる食堂
 - 手づくり村相川
 - NPO法人 ^{いのち} 生命の貯蓄体操普及会 長岡支部
 - 株式会社 物理計測コンサルタント
- 市民活動・虎の巻
- 『はじめての「後援申請」』
- 私たちは〇〇ができます!
- 長岡市アカペラサークル ハモろう亭

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。

活動の根っこ
限りない情熱!!
岡村真人

岡村真人さん(48歳)
会社員/えちご川游川の会、かわくち遊雪隊
1971年旧川口町生まれ。冬は20年以上除雪ボランティアを行い、夏は魚野川のほとりから川辺で遊ぶ楽しさを伝える活動を展開中。



●毎年8月に川口や前河川敷で開催している「川魚のつかみどり」。来場者は700人を超え、準備には10か月以上前から取り組んでいます。

原動力はみんなの喜ぶ顔 地域の資源とのお付き合い

川口地域で河川清掃や川辺でのイベントを行う「えちご川游川の会」。今年から代表を務める岡村さんの地域活動デビューは川ではなく、除雪からでした。
「近所に住む親しい先輩から除雪ボランティアを行う『遊雪隊』を始めるから手伝ってほしいと言われ、何となく参加した」と振り返る岡村さん。地域の高齢者宅などを回り、多いときで1シーズンに14回も出勤。一時東京に単身赴任だった頃も、2週間に1度は帰省し、家族との時間の合間を縫って雪掘りに出ていました。「活動を始めた当初、おばあちゃんに拜まれたことがありました。大したことはしてないので恥ずかしかった記憶があります。本当はご近所の人同士で助けあえて、遊雪隊が解散することが一番いいと今でも思っています」。

小さい頃から釣り好きでやな場が遊び場だったこともあり、10年ほど前からは游川の会にも加入。近年、川は危険という理由で子どもたちが気軽に遊べないため、川辺で遊ぶ楽しさを伝えたいと、精力的にイベントを企画しています。「魚のつかみどりイベントをすると、たくさんの方が川口に遊びに来てくれ、とても地域が活気づくのが感じます。川という資源を活かし、参加してくれる人たちの喜ぶ顔を増やしていきたいですね」。最近では岡村さんのお子さんも自主的に游川の会に参加するようになり、親子で地域活動に取り組んでいます。
遊雪隊と游川の会では、目的や対象が全く違う活動ではありますが、いずれも「人々の喜ぶ顔」が岡村さんを突き動かします。「今後は所属している会にとらわれずに、川口のいろんな団体とも連携して地域を盛り上げていきたいと思っています」。

日本海に沈む夕日を追いかけて 好きなことから生み出すまちの豊かさ

寺泊地域の海岸沿いにあるミニギャラリー&カフェ「ローズマリーガーデン」。日本海が一望できる店内には、一点もののアクセサリやアート作品など、店主の趣向がうかがえる品が並びます。
ここを切り盛りする原田美喜子さんは、日本海に沈む夕日が大好き。新潟で過ごした高校時代には、授業を抜け出し新潟市の海まで夕日を眺めに行くことも多かったそう。進学をきっかけに上京し、住宅メーカーに就職。東京で暮らしながらも、日本海に沈む夕日を側で見たいと、45歳の時に好条件の土地を見つけ、週末を寺泊で過ごす二拠点居住をスタート。定年を機に寺泊へ移住し、カフェをオープンさせました。
いつでも夕日が楽しみ、価値観の近いお客さんとも出会える暮らしに満足していた原田さんですが、お客さんから誘われた地域の交流イ

ベントに参加したことをきっかけに、地域との関わりが生まれました。「体を動かすことが好きだったので、縁あって寺泊総合型スポーツクラブ『てらスポ!』内で卓球サークルを始めることになりました」。卓球が得意な三条市在住のカフェのお客さんをコーチに、スタートして3年。ゆるやかさが評判でメンバーが広がり、3クラスに分かれて活動するほどの人気サークルに成長しています。他にも、史跡の多い寺泊をランチ付きで歩いてみようというツアーを企画。地域の魅力を再発見できた、地元の人からも好評でした。
原田さんはカフェやサークルなどを通して地域内外の人との関わりが生まれ、移住したの頃には想像もしなかった充実感を感じているそう。この美しい夕日のまちがこれからも豊かに続いてほしいと願いながら、地域に根を張った暮らしを楽しんでいます。

活動の根っこ
あんなに嬉しい私はない!!
原田美喜子

原田美喜子さん(68歳)
カフェ店主
1951年五泉市生まれ。東京の住宅メーカーで定年まで勤めた後、夕日を求めて寺泊へ移住。現在はカフェを経営しながら卓球クラブで週3回汗を流している。



●上越市と新潟市で活動するピンポン同好会と開催した交流試合。カフェのお客さんが上越卓球クラブを主催していたことから生まれた企画です。

活動PickUp!

しろまる食堂

地域のナナメの関係づくり

長岡



「四郎丸地域でも子ども食堂を作りたい」と仲間を募り昨年11月より四郎丸コミュニティセンターで活動を始めました。毎月1回、金曜日を中心に『しろまる食堂』を開催しています。これまで7回開催し、毎回50名前後の方が参加。多くの方からの支援や協力をもらい、子どもたちが家族や先生、友達の関係だけではなく、多世代がつながれるナナメの関係づくりを目指して活動しています。

手づくり村相川

元住民らで創る大人の秘密基地

川口



川口の最南端に位置し昭和48年に集団移転した山ノ相川集落の土地に、元住民ら有志が集まり、大人の秘密基地のような手作り村を作っています。今年で開村12年目を迎え、夏のバーベキュー、秋の新米を食べる会など、年間4回ほどイベントを行っています。メンバーも高齢化してきていますが、みんな活動を続けることが生きる張り合いにもなっているため、あまり手を広げ過ぎずに続けていきたいと思っています。

NPO法人 生命の貯蓄体操普及会 長岡支部

たたみ1畳でできる健康づくり

長岡



自分たちの住む地域の人を健康にすることを目的に、東洋医学に基づいた健康づくり体操を行っています。長岡近隣に19教室があり、昨年で創立20周年を迎えました。年齢を重ねても病気があっても誰でもできる体操で、退職してから体操を始めた方から「もっと早くこの体操と出会いたかった」という声もありました。平日の夜などより多くの方が通いやすい環境を作っていけたらと思っています。

株式会社 物理計測コンサルタント

「ゼロ防災(事故・災い無し)」で子どもの安全を見守る

長岡



(株)物理計測コンサルタントは、井戸に関する測定などを行う会社です。会社周辺は北部の工場地帯で、新町小学校の児童が登校する時間帯には、出勤する自家用車や工場からの輸送トラックなどが行き来しています。そんな地域の実情から、子ども達の安全な登校を見守る立哨ボランティア活動を週3回行っています。子ども達からの元気なあいさつをもらって、さわやかな気持ちで仕事を始められます。

みんなの声

投稿テーマ 「これも協働!?」暮らしの中で感じた人とのつながり
投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

投稿 随時募集中

投稿者 しょうたくママさん

投稿者 あやんJAPANさん

先日の母の日のこと、2人の息子たちがプレゼントを用意してくれていました。お兄ちゃんは絵が得意。下の子は詩が得意。毎年、それぞれの得意分野を活かしてプレゼントを贈ってくれます。いつかもらえなくなる日が来ると思うので、今のうちに楽しんでおきたいと思っています。

結婚もある意味、人生をかけた協働のひとつですよね。恋人は不安との闘い。夫婦は不満との闘い。自分が変わったのか相手が変わったのか。協働って難しい(笑)



QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。